‘ὁ κόσμος, ἀλλοίωσις· ὁ βίος, ὑπόληψις.’

31号 1991.5.27
文・編集・発行
恋怪子

LIVE：ティラノザウルス 1991.5.15 渋谷ラ・ママ

作為をいくら積み重ねたってミステリアスなものは生まれない。作為の核に不思議がなければ。
作為を積みかさねるだけなら，目をごまかすだけの手品。魔法じゃない。
手品なら種あかしがあるけど，魔法には目に見える種あかしはない。
ティラノザウルスは，私には魔法，だった。種あかしのできない，信じることしかできない魔法，だった。
でも，いまのティラノザウルスは手品。それも種あかしのわかっちゃった手品。

ティラノザウルス次回ライブ：6/15 ラ・ママ THE YELLOW MONKEYと。
5/16ティラノザウルスのライブのあと(アンコールの途中で出ちゃったんだけど…)次回6/15の前売券を買わなかった。多分行かないだろうと思って。そうしたら5/18 THE WALTZのライブで次回のライブが6/15だっていうんだもの，心の流れに体も流れていくのです。

夢の夢　エドガア・アラン・ポウ

その眉にこの接吻を受け給え。
今あなたとお別れするにあたり，
たっぷり言わせて戴きます——
あの頃は夢だったと考えられても
間違いではないのです。
さりとて希望が
ある夜ある日に，
幻やうたかたと消えたとて，
それ故に，儚，儚し夢にすぎまいか。
我々が見たり，見えたりするものはみな
夢の夢にすぎません。
私は砕け波のくだける磯の
轟きの中に立っている，
そして私は手の中に
黄金の砂をいく粒，握っている——
ほんの少し。しかしそれらはどんなに
私の指の間から海へ這い落ちることであろう，
私が涙を流し泣いていれば。
ああ，神よ，私はもっとしっかり
掴むことはできませぬか。
ああ，神よ，私はその一粒，無情の波から
救えませぬか。
我々の見たり見えたりするものはみな
夢の夢にすぎませぬか。

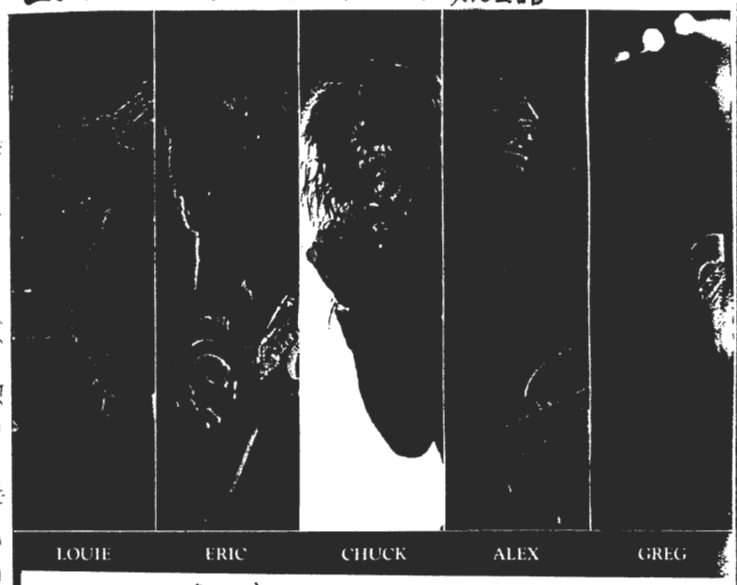
LIVE：MORRIE（モーリー） 1991.5.6 川崎クラブチッタ

開場時間が30分以上遅れ，開演時間は1時間以上遅れ。それについて一切アナウンスなし。どこのライブでもそうだけど。
MORRIEが出てきて歌いはじめた。椅子から立つ気にならない。そのうちにテーブルにつっぷしてしまう。体を，聴く部分だけ目覚めさせておいてあとは眠っていた。まんなかあたりにやった2，3曲（この中にはMORRIEがギターを弾きながら歌うのもあった）はよくて立って聴いた。そしてこの2，3曲は新曲だときいて，やっぱりねって思った。DEAD ENDのライブのときもそうだったんだけど，MORRIEって，その時その時の新曲以外の歌はいいと感じられなくて，新曲以外はたいてい眠ってしまっていた。どうしてなんだろう？MORRIEは変態したとたん，その脱皮したものが完全にぬけ殻になってしまうのかもしれない。
それとMORRIEの歌詞は独特ですばらしいと思うんだけど，この日はその歌詞に生命をふきこめていなかった。

LIVE：THE VANILA 1991.4.27 三軒茶屋 HEAVEN'S DOOR

はじまってから2，3曲は，いままでいつも感じていたTHE STREET BEATSみたい，というのが全くなくなって，いいなァという感じだった。ヴォーカルが荒々しくて。ギターも以前のようにヴォーカルを邪魔する，っていうか，ヴォーカルといっしょに歌っちゃうというか，そういうのがなくなっていた。だけどヴォーカルもギターも余力あり，余裕ありげにきこえる。ベースがいちばん。ベースを弾いている人とベースの音が全部かさなっているから。ステージで，その瞬間の自分を全部出している感じがするから。
後半は退屈した。「闇をつきぬけて」っていう歌，今まで何回かきいたことがあって，いい歌だと思うんだけど，この日の「闇をつきぬけて」はタイトルをきかなかったら，その歌だと気がつかなかっただろうと思えるほどだった。

LIVE：テスタメント 1991.4.10 川崎教育文化会館 4.13 渋谷公会堂



5月10日 川崎教育文化会館

全然よくなかった。はじめから終りまで耳を聾するだけの大音響。アレックス・スコルニックがマッチョマンみたいでちっともステキじゃない。ギターを指先でピロピロ弾いているだけのように感じられた。なにかバンドとしてタイトにひとつになっていない。ヘッドバンギングの伴奏でしょう，あれじゃあ。ヴォーカルのチャック・ビリーがメンバー紹介をして，そのあとの一曲はすこしかにひびいてきたけど，それが最後の曲で，アンコールはまたただの大音響。私はほとんど椅子にすわったまま。前の席のアメリカ人の男の子たちが4，5人暴れまくって，たびたび警備員に注意されているのを見ても，どうってことなく，ばかばかしい気分でいた。何曲やったのかしらないけど全部同じにきこえた。この日のテスタメント 5000000 …… BORING！

5月13日 渋谷公会堂

5月10日のテスタメント，あれはいったいなんだったの？というくらい全くちがう印象を受けた。はじまったとたんに，あ，いいな！となって背中がザワザワッ。アレックス・スコルニックもマッチョマンな感じじゃなくて，なんかかぼそく弱々しい，それだからこそギターは流麗。音楽を通して感じるテスタメントの5人って，私にはとても親しみが持てる。近寄り難い感じがしない。音楽はあたたかくて，きいているうちに，体を動かさないのに汗がにじんでくる。生命に直接に音楽が働いて，体のすみずみまでそれが伝わるからだろう。
CD「SOULS OF BLACK」おすすめです。

GUITARLIST：YOU（足立祐二） LIVE：1991.5.14 渋谷TAKE OFF 7

DEAD END解散前の最後のライブアルバム「DEAD END 1.2」をきいたとき，YOUのギターってこんなふうだったはずがない！って強く思った。すくなくとも私がそれまでDEAD ENDのライブできいたときはこんなふうだったはずがない。だってこんなふうだったら，絶対にギターにひきつけられたはずだもの。すごくすばらしいギターなんだもの。だからEIZIでギターを弾くというのでききにいったのだ。ドキドキしながらライブのはじまるのを待っていたのだ。
そうして，私ははじめてYOUのギターをライブできいたのだ!!!
スティーヴ・ヴァイは「音楽というのはパーソナリティーの完璧な反映だと思う」といっているけど，私は音楽を通して，ギターを通して完璧に反映されたYOUのパーソナリティーを賛美する。

90's ZIGGY STARDUST APPEARS ON THE STAGE!

EIZI LIVE!

東芝EMIより今秋デビュー予定！！ただ今レコーディング中

ライブ・サポート・メンバー
G. YOU（EX・DEAD END）
B. 根岸孝旨
D. 松本 淳

次回ライブ
6/24 原宿ルイード
YOUのギターはもちろん!!!
だけどEIZIのヴォーカルもステキ！です。